

老いても安心して暮らすことのできる地域をめざして 認知症セミナー

～認知症を地域で支えあおう～



高齢社会の進展に伴い、認知症に対する関心は近年急速に高まっています。認知症の方が安心して暮らすことのできる地域をつくるには、周囲の人々が、認知症に対し正しく理解することが大切です。一方、認知症の発症をできるだけ遅らせようとする取り組みも、地域で広がりつつあります。

本セミナーでは広く市民を対象に、認知症の専門医師による講演やパネルディスカッションを通して、誰もが「老いても安心して暮らすことのできる地域」をつくるにはどうしたらよいかを考えます。

とき 平成21年**3月21日(土)**
14時00分～17時00分
受付 **13時30分～**

ところ 下関市社会福祉センター
大ホール(下関市貴船町3-4-1)

認知症に関心のある方ならどなたでも参加できます
(入場無料)

※ 当日は臨時駐車場を準備しておりますが、混雑が予想されますので、できるだけ乗り合わせてお越し下さい。
駐車される場合は係員の誘導に従って下さい。



講師

福岡大学医学部教授
やまだ たつお
山田 達夫 氏

東京医科歯科大学医学部医学科卒 医学博士(神経内科学)

日本神経学会評議員、日本認知症学会評議員、日本脳科学学会評議員、日本老年医学会評議員、日本内科学会評議員等

【著書】「アルツハイマー病は予防できる?」(福岡印刷)「脳を介護する」(悠飛社) ほか

主催 社会福祉法人下関市社会福祉協議会

共催 下関市、高齢社会をよくする下関女性の会(ホーモイ)、下関認知症を支える会くるみの会
下関市認知症を支える会「キャッチボールの会」、豊北町認知症を支える会「ほのぼの会」

後援(予定) 山口県社会福祉協議会、下関市教育委員会、下関市医師会、下関市民生児童委員協議会
下関市老人クラブ連合会、下関市老人福祉施設協議会、山口県看護協会下関支部・豊浦支部
山口県介護福祉士会、下関市介護支援専門員連絡協議会

プログラム

14:00 開会

基調講演

『アルツハイマー病は予防できる?』
～軽度認知障害(MCI)について～

講師: 福岡大学医学部神経内科学教授

やまだ たつお
山田 達夫 氏

15:30 パネルディスカッション

『老いても安心して暮らすことのできる地域をめざして』
～認知症を地域で支えあおう～

パネリスト

中野 和子 氏 (下関市保健部健康づくり課 課長補佐)

高玉多美子 氏 (下関市認知症を支える会「キャッチボールの会」)

田中 隆子 氏 (高齢社会をよくする下関女性の会ホーモイ代表)

コメンテーター 山田 達夫 氏

17:00 閉会